

笑心の郷 だより

令和3年2月号

〒707-0421
美作市川上30-1
多機能型介護ホームえーる
TEL 78-0555
多機能型介護ホームはーと
TEL 78-0558
デイサービスセンターどりーむ
TEL 78-0557

基本理念：あなたの笑顔と夢を わたしの笑顔と夢で 心を込めて応援します



「気持ちよかったですね。」
と喜んで下さいます。まだまだ寒い日が続きますが、体も心もほかほかになって頂きたいと思えます。そして明日もまた「にゅーよーく（入浴）に行く？」とお誘いします。

さて話は変わりますが、今回は、はーとのお風呂について紹介したいと思います。一般浴と機械浴とあり、広くゆったりと入浴していただけます。入浴は午前中になります。ヒートショック（急激な温度変化で血圧が乱高下し脳梗塞や失神などを引き起こす）を防ぐ為、冬場は浴室や脱衣所は南国のように暖かくしてあります。また入浴の前後必ず水分補給をして頂き、血液がドロドロにならない様に注意しています。体を清潔にする他、体の観察も行い、状態によっては看護師が処置なども行います。冬場はお風呂にお誘いしても「たいがい」となかなか入浴してもらえない事もあります。入浴後は決まっ



息災を願って利用者の皆さんのおでこや体の痛いところに灰を付けました。きっとこれで今年も一年、利用者の皆さんを厄から守ってくれるはずですよ。



二〇二一年となりましたが、思わぬ寒波に見舞われ一月八日に予定していた「餅つき」が急遽十三日に変更になりました。それでも肌寒い日でしたが、「寒い」と愚痴をこぼされる方は誰一人いません。ヨイショ、ヨイショと掛け声が響き渡ります。できる方は無理のない程度にペタン、ペタン。昔から行ってきた行事ですから手慣れた手つきでつき上がった餅を丸めていく女性の皆さん方。できない方も楽しげに見つめています。皆さん自然と顔もほころび、心弾んでいるようです。おやつにぜんざいを頂き、その後福笑いを楽しみました。そして一月十五日には、もう一つの行事「とんど」を行いました。この日は天候に恵まれ、暖かな日差しの下、丑年の職員がやぐらに点火。願い事を書いた紙が、火煙や灰となって高く高く舞い上がりました。無病



えーる

1月16日にえーるでは「とんど」を行いました。年明けに利用者の皆さんに書いていただいた書初めに点火しました。毎年の事ながら職員・利用者の皆さんも「わー。」という歓声。驚き・拍手が上がりました。今年は職員手作りの「おしるこ」を食べていただきました。そして新年会を行いました。新年会では、的当ゲーム・冬のうた・福笑いをしました。的に点数を書き、おもちゃのピストルで点数を競い合いました。中心に当たる方、職員のおなかにあたる方などいろいろでした。福笑いは目隠しをして一人ひとり挑戦し、出来上がった福笑いと写真を撮りました。順番が来るのを待っている時は上手に出来るかどうかドキドキ・ワクワクしている様子でした。こちら手作り黒豆ケーキを食べていただきました。利用者の皆さんとともに職員も大笑いしました。今年も皆さんと一緒に笑顔な一年になりますように、コロナなんて吹っ飛ばせ！！



どりーむ

1月7・10日に新年会を行いました。昼食の献立も新年会バージョンに変更し、去年は大きな土鍋で提供しましたがコロナ禍の為、今年は一人ずつの鍋につみれ団子や野菜、うどんを目の前で煮込み熱々の物をフーフーしながら「体が温まるわ」「美味しいなあ」と言いつつ笑顔で食べられていました。休憩をはさみ午後からは職員による寸劇「一休さん」です。1カ月以上前から利用者の皆さんにお手伝いしていただき、虎の屏風も黄色や黒色のお花紙を小さく丸めて貼り付け、今にも飛び出してきそうになりました。将軍様のお屋敷に咲く桜の花も利用者の皆さんのご協力で完成しました。



さて、後は職員の劇ですが、全員が揃いりハーサルができず、ほぼぶっつけ本番となりバタバタ劇となってしまいました。それでも利用者の皆さんの笑い声もあり楽しい一時となりました。次回一休さんを披露する時までにはもう少し上達しておこうと職員一同、反省しました。



1月13日にはえーるとどりーむ合同のとんどが行われ、年女の利用者の方に点火をして頂き、利用者の皆さんが書かれた習字を燃やし上達を願ったり、灰を額に付け一年の無病息災を願いました。3時のおやつには利用者の皆さんにお手伝いして頂いた白玉団子入りぜんざいを食べ楽しい時間になりました。



今月のお食事

今回は、七草入りに飯、おおひよこの粉山椒焼き、油揚げとさつま芋の煮物、青菜の柚子和えです。一般に七草粥は、一月七日の節句の行事食で、春の七草「せり・なす・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ」が入ったお粥を食べると、一年間を無病息災で過ごせるとされています。

